

## 第3, 4学年 国語科学習指導案

児童 第3学年 5名 第4学年 8名

授業者 小幡 真理

1 単元名 組み立てをとらえて、民話をしょうかいしよう

中心学習教材名 三年とうげ(光村図書3年)

2 単元について

(1)児童の実態

これまで子どもたちは、物語を読む学習において、場面の様子や登場人物の気持ちを想像する学習を積み重ねてきた。「まいごのかぎ」では、様子や気持ちを表す言葉に着目し、心情の変化に気を付けて読む学習を、「ちいちゃんのかげおくり」では、場面と場面をくらべて読む学習を通し、叙述を基にしながら場面ごとの様子や登場人物の心情を理解し、自分なりに考えをもつことができるようになってきている。ファンタジーの物語の面白さや戦争時代の様子を想像しながら読めるようになってきたが、物語の構成を意識しながら物語全体を捉え、その物語のおもしろさを見つけるまでには至っていない。この単元で物語の組み立てを学習することで、一つ一つの物語の展開に面白さを感じられるようにしたいと考える。

(2)学習材について

本単元「組み立てをとらえて、民話をしょうかいしよう」では、登場人物の心情の変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することを主たるねらいとしている。

中心学習材「三年とうげ」は朝鮮半島に伝わる民話で、冒頭の挿し絵には「ため息の出るほど」よい眺めの峠が描かれている。そのように魅力的な眺めでありながら、人々が恐れる言い伝えがあるというギャップが、子どもたちを引きつける。そこに登場するおじいさんとトルトリの性格を表す語句や情景描写、民話独特の語り口のリズムなどを楽しみながら、登場人物の性格や心情を想像し、イメージを膨らませて味わわせることができるかと考える。

1 単元名 気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう

中心学習教材名 どんぎつね(光村図書4年)

2 単元について

(1)児童の実態

これまで子どもたちは、物語を読む学習において、登場人物の会話や行動から性格を捉えたり、登場人物がどのようにして変わったかを考えたりする学習を積み重ねてきた。「白いぼうし」では、場面と場面をつなげて読む学習を、「一つの花」では場面の様子をくらべて読む学習を通して、登場人物の気持ちに迫って読むことができてきた。しかし、出来事の流れを捉えることはできるが、場面の移り変わりや登場人物の心情を叙述を基に豊かに想像することは十分にできているとはいえない。また、話し合い活動は好きだが、じっくりと書くことで自分の考えを深めることを苦手としている児童もいる。本単元で「情景」という新しい学習用語を学習し、登場人物の気持ちを表す情景描写を見つけ、そこから登場人物の気持ちを豊かに想像させていきたい。

(2)学習材について

本単元「気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう」では、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができることを主たるねらいとしている。

中心教材「どんぎつね」は6場面構成で、「どん」の心情やその変化が捉えやすく、場面の展開に沿って人物の気持ちの変化を想像しながら読む力を育てるのにふさわしい作品といえる。ちょっとしたいたずら心や償いなど、「どん」のひたむきな思いや行動に子どもたちは寄り添いながら読むことができると考える。また、登場人物の気持ちが、豊かな情景描写によって表現されている。それぞれの場面ごとの登場人物の気持ちを想像するにとどまらず、物語全体を通じて複数の叙述を結び付けることで、どんの気持ちの変化や、どんと兵十の気持ちのすれ違いを読み取ることができる。そして登場人物に対する自分なりの考えを友達と交流し、

### (3) 指導にあたって

指導にあたっては、次の三点に留意していく。

一点目は、本単元で育成を目指す資質・能力を明確にした単元構想である。本単元で育てたい資質・能力は、「組み立てをとらえる」である。構造と内容の把握の段階で、「学習」のページを活用し、「自分が読んだ民話や昔話をしょうかいする」というゴールを確認する。教師の紹介モデル文や教科書の「しょうかいのれい」を見せることで、自分も好きな民話や昔話を紹介してみたいと意欲をもたせる。民話や昔話を紹介するには、物語の組み立てが分かり、その場面ごとの登場人物や出来事、おもしろいところなどを理解することが必要である。それぞれが疑問に思うことを出し合い、自分たちが解決したいことを中心に学習課題を設定する。精査・解釈の段階では、組み立てに着目して読み、それぞれの場面に何が書かれているかを把握させ、登場人物の変化を捉えながら読み深めさせていきたい。

二点目は、考えを深める工夫である。精査・解釈の段階で、「三年とうげ」のおもしろさについて友達と交流する活動を毎時間設定する。作品に対する理解を深めたり、自分が気づいていなかった作品の魅力に気づいたりすることで、自分が選んだ民話や昔話を紹介する際の観点へとつなげていく。友だちと話したことによって、より豊かに物語を読めるようになったと自覚することで、また次の機会においても積極的に対話しようとする態度を育てていきたい。

三点目は、主体性につながる自己評価の観点をもたせることである。本単元での資質・能力は、組み立てに沿って人物の変化を捉えることである。民話や昔話が紹介できている、できていないといった活動の様子を見取るだけでなく、単元で付けさせたい資質・能力に応じて評価をするという意識をもちたい。したがって、一単位時間の終末のふり返りでは、本時の目標につながる観点と友達と話合った観点をいつでも自己評価させるようにしていきたい。また、単元の終わりには「振り返りシート」を用いて児童一人一人が単元全体でつけた力を確かめるようにしていきたい。

深めたり広げたりできると考える。

### (3) 指導にあたって

指導にあたっては、次の三点に留意していく。






一点目は、本単元で育成を目指す資質・能力を明確にした単元構想である。本単元で育てたい資質・能力は、「話し合って、人物や物語に対する考えを深める」である。構造と内容の把握の段階で、「学習」のページを活用し、「考えたことをまとめ、話し合う」という単元のゴールを確認する。物語全体を通して登場人物の気持ちの変化を読むために、物語の内容だけでなく、語句などの使われ方にも着目して読むなどの学習の見通しをもたせるようにする。叙述をもとにしてごんの性格を捉えることを設定するが、複数の叙述を結び付けて、登場人物の性格を思い描くようにするために、場面ごとに区切らずに、物語全体の構造を捉えられるようにしていく。そして、それぞれが疑問に思うことを出し合い、自分たちが解決したいことを中心に学習課題を設定する。「ごんが兵十にしたこと」と「ごんの気持ち」「兵十の気持ち」を場面ごとに一つの表にまとめることで、ごんと兵十の気持ちのすれ違いを捉えやすくし、それをもとに精査・解釈の段階では、二人の気持ちにどのような気持ちの変化があったかを考える。単元の終末においては、「ふりかえろう」をもとにこの学習でつけた力を確認する。

二点目は、考えを深める工夫である。情景描写から、登場人物の気持ちと響き合うように描かれた風景や場面の様子からも、人物の気持ちを想像させていきたい。情景描写や場面の様子がより伝わる表現に着目し話し合うことで、より豊かに人物の気持ちを想像する。互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うことで、一人ひとりの感じ方の違いに気付くようにする。

三点目は、主体性につながる自己評価の観点をもたせることである。本単元での資質・能力は、気持ちの変化を読み、考えたことを話し合うことである。登場人物の気持ちを想像してまとめたり、考えたことを友達と共有したりする場面を、自己評価と他者評価の機会としたい。その時に加除修正する姿は主体的に学習に取り組んでいる態度として評価していきたい。

また、単元の終わりには「振り返りシート」を用いて児童一人一人が単元全体でつけた力を確かめるようにしていきたい。

3 育てたい資質・能力  たいせつ  学習用語

|   |
|---|
| <p>文章を読んで理解したとことに基づいて、感想や考えをもつこと。</p> <p> <b>物語に対する感想をもつ</b><br/>  <b>会話の文・地の文</b><br/>                 「ちいちゃんのかげおくり」</p>           |
| <p>登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて想像すること。</p> <p> <b>組み立てをとらえる</b><br/>                 「三年とうげ」</p>   |
| <p>文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくこと。</p> <p> <b>登場人物のせいかくをとらえる</b><br/>  <b>語り手</b><br/>                 「モチモチの木」</p> |

4 言語活動 民話や昔話を紹介する

5 単元の指導計画






(1) 単元の目標

|   |
|---|
| [知識及び技能]  |
| ① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ((1)オ) |
| [思考力・判断力・表現力等]  |
| ① 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 (C(1)エ)   |
| ② 登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えることができる。 (C(1)イ)                |
| 「学びに向かう力、人間性等」  |
| ① 言葉がもつよさに気づくとともに、幅広い読書をし、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする。           |

(2) 評価規準

|  |
|--|
| 知識・技能  |
| ① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 ((1)オ)              |
| 思考・判断・表現   |
| ① 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 (C(1)エ)     |
| ② 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えている。 (C(1)イ)                  |
| 主体的に学習に取り組む態度  |
| ① 積極的に登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、民話や昔話を紹介している。 |

3 育てたい資質・能力  たいせつ  学習用語

|  |
|--|
| <p>登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。</p> <p> <b>特別な言葉に着目する</b><br/>  <b>設定</b> 「一つの花」</p>       |
| <p>文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。</p> <p> <b>人物や物語に対する考えを深める</b><br/>  <b>情景</b> 「ごんぎつね」</p> |
| <p>登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。</p> <p> <b>登場人物の変化と、出来事の関係をとらえる</b><br/>                 「プラタナスの木」</p>   |

4 言語活動 物語を読み、考えたことを話し合う。

5 単元の指導計画

(1) 単元の目標

|   |
|---|
| [知識・及び技能]   |
| ① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語句を豊かにすることができる。 ((1)オ)               |
| [思考力・判断力・表現力等]  |
| ① 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。 (C(1)カ) |
| ② 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 ((1)エ)  |
| 「学びに向かう力、人間性等」  |
| ① 言葉がもつよさに気付くづくとともに、幅広い読書をし、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする。             |

(2) 評価規準

|   |
|---|
| 知識・技能   |
| ① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語句を豊かにしている。 ((1)オ)                               |
| 思考・判断・表現  |
| ① 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 (C(1)カ)                |
| ② 「読むこと」について、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 (C(1)エ)       |
| 主体的に学習に取り組む態度   |
| ① 進んで読んで考えたことについて話し合い、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づき、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 |

(3) 単元の指導計画・評価規準

3年「三年とうげ」 (全8時間)

4年「ごんぎつね」(全12時間)

| 第3学年 7/8 (本時)  |  |    |                 |           | 第4学年 9/12 (本時)  |  |   |
|--|--|----|-----------------|-----------|---|--|---|
| ○学習活動<br>着目する言葉  | 評価規準及び<br>評価方法   | 時間 | 過程              | 時間        | ○学習活動<br>着目する言葉   | 評価規準及び<br>評価方法   |   |
| <p>○ P 6 5 の「単元扉」のリード文や挿し絵、題名をもとにどんなことが起こりそうか発表する。</p> <p>○朗読CDを聞き、初発の感想を書き、交流する。</p> <p>○「組み立てをとらえ、民話を紹介しよう」の学習課題を設定し学習の進め方を確認する。</p> <p><b>あまり高くない、なだらかな とうげ</b><br/>・・・よいながめでした。</p>  | <p>[知識・技能]<br/><u>発言・記述</u><br/>登場人物の様子や行動、気持ちを表す言葉に着目しているか確認する。</p>   | 1  | <p>構造と内容の把握</p> | 1         | <p><b>学習計画を立てよう</b></p> <p>○P11の「単元扉」のリード文や挿し絵、題名をもとにどんなことが起こりそうか発表する。</p> <p>○朗読CDを聞き、初発の感想を書き、交流する。</p> <p>○「気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう」の単元の学習課題を設定し、P30の「学習」をもとに学習の進め方を確認する。</p>  | <p>[知識・技能] <u>記述</u><br/>「気持ちを表す言葉」や辞書などを使って、登場人物の気持ちを表す語句を知り、文脈に合わせて使っているか確認する。</p> |   |
|  |  | 2  |                 | 2         | <p>「ごん」はどんなきつねなのか話し合おう</p> <p>○「ごんぎつね」を読み、内容の大体を捉える。</p>  |  | <p>[思考・判断・表現①] <u>記述・発言</u><br/>友達の感想を聞き、感じ方などに違いがあることに気づいているか確認する。</p> |
|  |  | 3  |                 | 3         | <p>○「ごん」はどんなきつねか、また疑問に思ったこと、みんなと考えたいことを考え、学習計画を立てる。</p> <p><b>ひとりぼっちの小さなきつね (大人の小さなきつね)</b><br/><b>いもをほり散らかしたり・・・いろんなことをしました</b><br/><b>びよいと草の中から飛び出して・・・</b><br/><b>ちょいといたずらがしたくなったのです</b><br/><b>下手の川の中を目がけて・・・</b><br/><b>びっくりして飛び上がりました</b><br/><b>一生けんめいににげていきました</b><br/><b>ごんはほっとして・・・</b></p> <p>○学習課題を確認する</p> |  |   |
| <p>内容をつかめよう</p> <p>○おおまかな内容や人物像を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなところで</li> <li>・だれが</li> <li>・どんな出来事が起こったか</li> <li>・新たにどんな登場人物が登場し、どのように解決したか</li> <li>・その後、「おじいさん」はどうなったか</li> </ul> <p><b>「三年とうげで、転ぶでない。…長生きしたくも生きられぬ。」</b></p> <p>○疑問に思ったこと、考えたいことを出し合い、学習課題を確認する。<br/>「お話のおもしろさを見つけてしょうかいしよう」</p> | <p>[思考・判断・表現①] <u>観察・発言・記述</u><br/>民話や昔話の組み立てを理解し、組み立てに沿って、登場人物の行動や気持ちなどに捉えているか確認する</p> <p>[思考・判断・表現②] <u>観察・発言・記述</u><br/>組み立てに沿って、登場人物の行動や気持ちなどについて捉えているか確認する。</p> | 2  | <p>内容の把握</p>    | 2         | <p>「ごんぎつね」を読み、内容の大体を捉える。</p>  | <p>[思考・判断・表現②] <u>記述・発言</u><br/>ごんと兵十の行動や気持ちの変化について叙述をもとに想像しているか確認する。</p>            |   |
| <p>「三年とうげ」の組み立てについてとらえよう</p>   | <p>[主体的に学習に取り組む態度] <u>発言・観察</u><br/>登場人物の気持ちの変化と場面の移り変わりを結び付けて、組み立てを考えながら紹介文にまとめているかの確認する。</p>   | 3  |                 | <p>精査</p> | 3   |  | <p>ごんと兵十の気持ちには、どんな変化があったのか、読んだことをもとに考えたことを伝え合おう</p>                     |

|   |   |  |                                 |                       |  |  |
|---|---|--|---------------------------------|-----------------------|--|--|
| <p>○『三年とうげ』の組み立てについてとらえる。<br/>         ・民話や昔話の組み立てと今まで読んだ話の紹介<br/>         (始まり、出来事1、出来事2、結び)<br/> <b>あるところに、ある秋の日のことでした。<br/>         ところがたいへん。そんなある日のこと、こうして、ところで</b></p>   |   |  | 解 積<br>精 構<br>査 造<br>解 と<br>積 内 | 4<br>5<br>6<br>7<br>8 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>各場面を読み、ごんの行動や気持ちの変化を想像しよう</p> </div> <p>○情景や、場面の様子が目にうかぶ様な表現を見つけ、どんなことが分かるかを話し合う。</p> <p>○「1」の場面 物語の背景。ごんの境遇と数々のいたずら<br/> <b>空はからっと晴れてもずの音がキンキンひびいて<br/>         びくの中の魚をつかみ出しては、はりきりあみのかかっているところより下手の川を目がけて、ぼんぼん投げ込みました。</b></p>   |  |
| <p>物語を通して、だれが、何によって、どのように変わったかを考えよう</p>   | 4 |  | 容 の 把 握                         |                       | <p>○「2」の場面 兵十のおっかあの葬列。ごんの後悔。<br/>         ひがんな花がふみ折られていました<br/>         ～今日はなんだかしおれてました<br/>         頭を引っこめました<br/>         「～ちよつ、あんないたずらをしなけりやよかつた。」</p>  |  |
| <p>○物語を通して、だれが、何によって、どのように変わったかを考える。<br/>         ・・・・真っ青になり、がたがたふるえ・・・すっとんでいき・・・しがみつき・・・、おいおいなきました。<br/>         「おいらの言うとおりにすれば、・・・きつとなおるよ。」<br/>         「もう、わしの病気はなおった。百年も、二百年も、長生きができるわい。」</p>  | 5 |  |                                 |                       | <p>○「3」の場面 兵十への共感。ごんの償い。<br/> <b>「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」</b><br/> <b>まず、一つ、いいことをしたと思いました。くりを置いて帰りました。</b><br/> <b>次の日も、その次の日も、その次の日には、くりばかりでなく～</b></p>  |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「三年とうげ」の組み立てを考えて、紹介文を書こう。</p> </div> <p>○始まり、出来事①、出来事②、むすびの組み立てに当てはめて、おもしろさや心に残ったことなども入れて紹介文を書く。<br/>         (表現のおもしろさ)<br/> <b>～やら～やら～ばかり<br/>         えいやら えいやら<br/>         えいやらや。…長生きするとはこりゃめでたい。<br/>         ころりん、ころりん、すってんころりん、べったんころりん、<br/>         ひょいころ、ころりんと、転びました。<br/>         けろけろけろっとし</b></p> |   |  |                                 |                       | <p>○「4」「5」の場面<br/>         後をつけてうかがうごん<br/>         引き合わないとなげく<br/>         ごん<br/> <b>二人の後をつけていきました<br/>         兵十のかけぼうしをふみふみいきました<br/>         「へえ、こいつはつまらないな。」<br/>         「～おれは引き合わないなあ。」</b></p> <p>○「6」の場面<br/>         兵十に撃たれるごん<br/>         その明るる日も、<br/> <b>こっそり中へ入りまし</b></p> |  |

|   |  |         |                       |                  |   |  |
|---|--|---------|-----------------------|------------------|---|--|
| <p><b>た顔をして</b></p> <p>民話や昔話をしようかいしよ</p>            |  | 6<br>本時 |                       |                  | <p>た<br/>うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが兵十はかけよってきました</p> <p>土間にくりがかためて置いてあるのが目につきました<br/>「ごん、おまいだったのか〜。」<br/>火縄じゅうをばたりと取り落としました<br/>青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました</p> |  |
| <p>○自分が選んだ民話や昔話について、「三年とうげ」の組み立てをもとに、学習シートにまとめる</p> |  | 7       | 考<br>え<br>の<br>形<br>成 |                  |   |  |
| <p>○自分が選んだ民話や昔話について、組み立てを考えて、紹介文を書いて、紹介の練習をする。</p>  |  | 8       |                       |                  | <p>ごんと兵十の気持ちには、どのような変化があったかを考えよう</p>  |  |
| <p>○自分の選んだ民話や昔話のおもしろさが伝わるように紹介する。</p>               |  |         | 共<br>有                | 9<br>本<br>時      | <p>○「ごん」と「兵十」の気持ちには、どのような変化があるか考える</p>  |  |
| <p>○単元の学習を振り返る。</p>                                 |  |         | 共<br>有                | 精<br>査<br>解<br>釈 | <p>うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが、また・・兵十はかけよってきました<br/>～目につきました。びっくりして、ごんに目を落としました。<br/>「おや。」<br/>「ごん、おまいだったのか、いつも、くりをくれたのは。」<br/>火縄じゅうをばたりと取り落としました。</p>     |  |
|   |  |         | 考<br>え<br>の<br>形<br>成 | 10.              | <p>決めたテーマで、物語や登場人物についての考えをまとめよう</p> <p>○くわしく読んで分かったことや感じたことをもとに、物語や人物についての考えたことをまとめる。</p>   |  |
|   |  |         | 共<br>有                | 11.              | <p>考えたことを発表し合い、考えを深めよう</p> <p>○考えたことを発表し合い、自分の考えを深める</p>  |  |
|   |  |         |                       | 12.              | <p>○単元の学習を振り返る。</p>   |  |





|               |   |             |          |  |  |
|---------------|---|-------------|----------|--|--|
| <p>4 深め合う</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで見合ってアドバイスをし合う。</li> <li>・できていない場合は、みんなで考える。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現②] <u>記述・発言</u><br/>組み立てに沿って、できごとや登場人物の行動について捉えているか確かめる。</p> | <p>ふかめる</p> | <p>■</p> | <p>5 深め合う<br/>グループ交流</p> <p>■ごんのつぐないの気持ちは兵十に伝わったのでしょうか。</p>  | <p>○ごんは、「あんなにたずりゃらしなけりゃよかった。」という気持ちからだんだん兵十に気持ちが寄っていったと思います。</p> <p>○兵十は、「あのごんぎつねめ」と言っているから、この時点ではまだ憎み続けていて、撃ってから「おまえ」と呼んでいることから、そこで気持ちが変わったことがわかります。</p> <p>・兵十の気持ちの変化に気づけるように、「ごんぎつねめ」から「ごん」へと言い方が変わっていることを押さえる。</p> |
| <p>6 まとめる</p> | <p>○修正する<br/>アドバイスを取り入れながら、組み立て順に大まかな話のなかがわかるように文章に直しながら書いていく。</p>  | <p>■</p>    | <p>■</p> | <p>手立て2<br/>交流のポイント<br/>友だちの考えと自分の考えのちがいに気づかせる。</p>  | <p>○くりや松たけに気付いて、「ばたりと取り落としました」から、心が通じ合っていくのがわかります。</p> <p>○その行動から、兵十が撃ったことを後悔しているのがわかります。だから、伝わったと思います。</p> <p>○仲良くなりたいという気持ちまでは伝わっていないと思います。</p> <p>○ごんは兵十がやっと気付いてくれて「よかった」とうなずいたのだと思います。</p>                         |
| <p>7 ふり返る</p> | <p>手立て3<br/>振り返りの観点<br/>文の組み立てにそって、登場人物のしたことや、大きな出来事などをまとめることができたか。</p>   | <p>■</p>    | <p>■</p> | <p>6 まとめる</p> <p>・二人の気持ちが通い合った瞬間について考えられるように、板書を工夫し課題をまとめる。</p> <p>7 ふり返る</p> <p>手立て3<br/>振り返りの観点<br/>友達の考えを聞き、感じ方などに違いがあることに気づくことができたか。</p> | <p>[思考・判断・表現②] <u>記述・発言</u><br/>ごんと兵十の行動や気持ちの変化について想像しているかの確認をする。</p> <p>・兵十の気持ちの変化を捉え、ごんと心が通じ合ったかどうかを読み深めさせたい。</p> <p>[思考・判断・表現①] <u>記述・発言</u><br/>友達の考えを聞き、感じ方などに違いがあることに気づいているか確認する。</p>                            |